

## 集団への適応

2021.5.9 札幌定例会

藤坂龍司

はじめに：自閉症児を健常児の集団に適応させるために

日本でも米国でも、自閉症児の早期療育と言え、障害児ばかりを集めた集団保育が主流だった。

しかしロバース博士は、「まず家庭で ABA 個別療育を半年以上行ない→その後、健常児の集団にシャドー付きで入れる」という方策を採用し、大きな成功を収めた。軽度から中度の知的障害を伴う自閉症児の半数近くが、この方法で知的に正常になり、付添いなしで小学校普通学級に適応することを明らかにしたのである。

小学校普通学級に付添いなしで適応できる、ということは、将来、大人の社会で自力で生きていける可能性が高いことを意味するだろう。それは自閉症児の親にとっての夢である。たとえその夢が完全に実現しなくても、健常児の集団の中で、なるべく少ない援助でやっていけることは、子どもの生活の質を向上させる意味があるだろう。そのためにどのような方策を取ったらよいだろうか。

### 1. 健常児の集団に適応させるためのポイント

- ・早期（1才半から3才台）から ABA 家庭療育（個別療育）を始める。
- ・集団の中でやっていく準備ができるまでは集団の中に入れずに、個別療育に専念する。
- ・①短いフレーズで話し、②他者の指示に従い、③適切なおもちゃ遊びができ、④トイレや衣服の着脱の自立ができたなら、健常児の集団（幼稚園、保育園）の中に少しずつ入れる。
- ・集団の中に入れるときは、当分の間「シャドー」をつける。シャドーは ABA をよく理解し、かつ子どもが家庭で何を学んでいるかをよく知っている人間、つまり親かセラピストが望ましい。
- ・シャドー支援と並行して、家庭に健常のピアを招き、ピアトレーニング（プレイデート）をすると効果的。
- ・家庭や事業所で、大人も交えた小集団の練習をすること（学校ごっこ）も効果的だろう。
- ・小学校に入るまでに、シャドーが不要になることが望ましいが、そうでない場合は、小学校入学後もシャドー支援を継続する。

### 2. 具体的な方策

（1）将来の集団適応のために、あえて最初は家庭でセラピーをする

健常児の集団に適応させるためには、早い段階で集団の中に入れてしまうのがよいと思いがちだ。療育の専門家もしばしばそのようにアドバイスする。

しかしロバース博士は、集団に適応する準備ができていない段階で、自閉症児を健常児の集団の中に入れても、意味がないと考えた。

だから最初は健常児の集団にも、かといって障害児の集団にも入れず、子どもの家庭で、1対1の ABA セラピーに専念した。

つみきの会のご家庭には、両親共働きの家庭も多いので、その場合は保育園に入れるのもやむを得ないが、片親が家庭にいるのなら、ぜひ最初の1～2年は家庭療育をメインにしてほしい。ABA 個別療育の事業所に通わせる場合は、親も同席すること、そして親も家庭でセラピーすることが望ましい。

#### (2) 療育園に入れること

日本では障害児療育と言えば、いまだに障害児ばかりを集めて行う集団療育が主流だが、それは自閉症児の知的能力や社会性の改善に効果がある方法とはいえない（エビデンスがない）。

ロバース博士も、自分たちが訓練している子どもを、少なくとも最初の数年は障害児の集団に入れなかった。そこにはよいモデルがないからである。

療育の専門家は療育園を勧めるかもしれないが、もし健常児の集団への適応を目指すなら、そのためにプラスにはならない、と考えておこう。

#### (3) 健常児の集団に入れるための条件

ロバース博士自身は、健常児の集団に入れる時期や条件を明らかにしていないが、お弟子さんたちの論文（Smith, T, et al. 2000）では、

- ①短いフレーズで話し、
- ②他者の指示や要求に協力的に応じ、
- ③適切なおもちゃ遊びができ、
- ④衣服の着脱やトイレなどの身辺自立スキルを身につけたら、

健常児の集団の中に入れ始めた（ABA 開始からおよそ一年、ただし個人差が大きい）、との記載がある。

#### (4) シャドー

現在、日本では、例えば保育園に障害児枠で入ると、加配という名の付添いをつけてくれる。

しかしロバース博士は、「ABA を熟知し、しかも子どもの状態を熟知した人間」をシャドーの条件とした。たとえ介助員がついても、その介助員が ABA を知らず、家で子どもが何を学んでいるかを知らなければ、有効な支援は望めないからである。

現在、米国では、自閉症児が健常児のプリスクールに通う場合に、ABA セラピストが公費ないし医療保険の負担で「シャドー」として付き添う、という制度がある。しかしわが国にはそのような制度がない。ABA セラピストの数も少ない。そのような制約の中で、親が ABA ホームセラピーをしているならば、その親がシャドーとして付き添うのがおそらくベストだろう。

Sallows & Graupner (2005) は、ロバースの追試研究の一つで、週 30 時間余りのホームセラピーで、対象児 23 人中 11 人、約 48% が知的に正常になり、小学校普通学級に入学（一部は短期間、シャドーを継続）という、ロバース博士に匹敵する成果を挙げた研究である。サローズらによると、

「社会的やり取りや関わり遊びはホームセラピーの中で教えた。最初はセラピストと、次いで兄弟と、次いで健常のピアと、一日1～2時間遊ばせた。子どもたちが社会的スキルを身につけたら、健常児のプリスクールに、最初は週1～2日、半日だけ参加させた。訓練を受けたシャドー（ホームセラピーのチームメンバー）が最初のうち子どもに付き添い、先生の指示に注意を向けたり、遊び場でほかの子と一緒に遊ばせたり、問題点を記録して、家庭での1対1のセラピーに持ち帰ったりした。」

サローズ&グローブナー2005での時間数の配分（平均）

	半年後	1年後	2年後	3年後	4年後
個別	33時間	29	22	18	12
プリスクール	5	6	8	13	28
スクールシャドー	1	1	5	11	5
ピアシャドー	0	3	6	4	3

プリスクールでの時間は、シャドーがついているときだけ、治療時間とカウント。早い子は2年で治療を卒業し始めた。一方、複雑な概念を学ぶのが困難な子どもは、全体の時間数を維持しながら、1対1の時間を増やし、ピアとの関わりの時間を減らしていった（対人的関心が低く、ことばも遅れているため）。

#### （5）ピアプレイ

サローズ&グローブナーは集団でのシャドーと並んで、ピアトレーニング（ピアプレイ）を重視した。

「大部分の子どもが4才になるまでにピアプレイをはじめた。社会性が正常範囲内にあると、小学校に入ってから教師に評価された子どもたちは、4才半になるまでに少なくとも2人のピア（兄弟でもいとこでもない）と週6時間以上（平均8時間）のピアプレイを少なくとも6か月継続していた。親たちはピアプレイのピアを見つけるために、教師や隣人に働きかけた。」

ピアプレイとは、健常の同年代の子どもを家に呼んできて、大人の立会いの下で、一緒に遊ばせたり、会話させたりすること。最初のうちはピアを一人だけ招いて、1対1の遊びや会話の練習をする。ある程度熟達したら、数人を同時に呼んで、集団遊びや、次に述べる「学校ごっこ」などを行う。

#### （6）学校ごっこ

「学校ごっこ（模擬学校、mock school）」とは家庭などで、少人数で学校のクラスを再現して、学校生活の練習をすること。

サローズ&グローブナーは次のように述べている。

「数人のピアを家庭に呼んで「学校ごっこ」をすることで、教室のルールや学校サバイバルスキル（全体指示に反応する、呼ばれたら返事をするなど）を教えた。」

#### （7）家庭でのSST

家庭での1対1のホームセラピーでも、ソーシャルスキルをある程度教えることができる。

サローズ&グローブナーは、ホームセラピーでもソーシャルスキルを教えた。

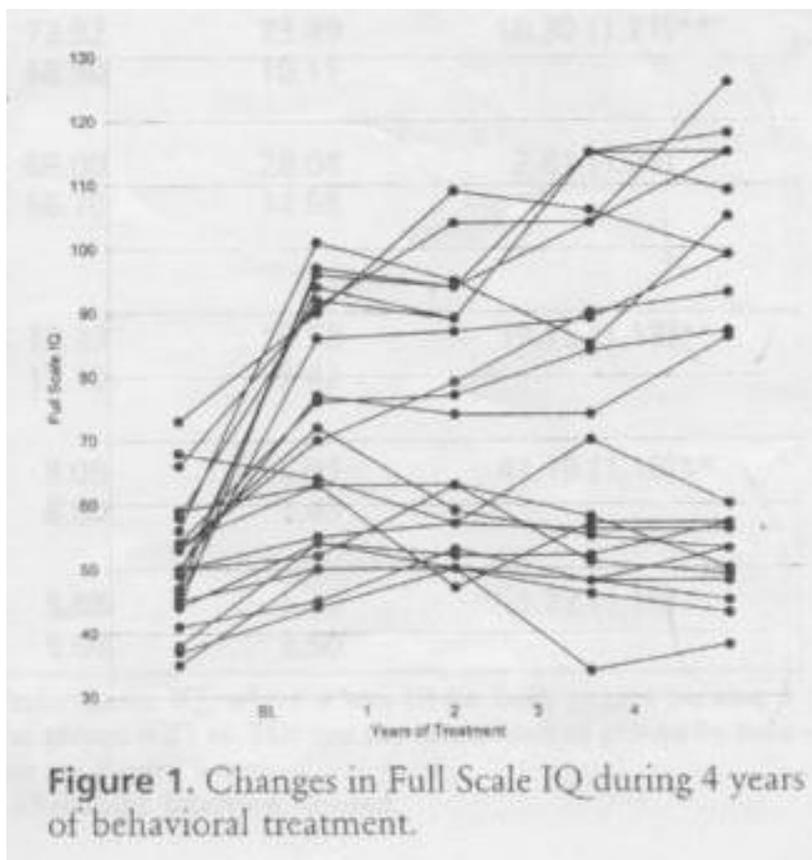
「ソーシャルスキルや会話スキル（例えば話題の維持や適切な質問）を、ロールプレイやビデオモデリング、ソーシャルストーリー、社会ルールやエチケットについての直接的なディスカッションを通じて教えた。」

ただしこれだけではおそらく不十分で、これを現実の集団に般化させるには、学校でのシャドーやピアトレが不可欠と思われる。

#### ○Sallows & Graupner (2005)

治療概要：2才から3才半の自閉症児 23 人 (IQ>35) に週 30~40 時間のセラピーを 4 年間継続。基礎スキルが身についたらシャドー付きでプリスクールへ。健常児とのプレイデートにも力を入れた。

治療成績：平均 IQ51→76。23 人中 8 人 (35%) が付き添いなしで普通学級へ。



Sallows & Graupner, (2005) Intensive behavioral treatment for children with autism : Four year outcome and predictors, *American Journal on Mental Retardation*, 110,6,417-438.

Smith, Groen & Wynn, (2000). Randomized trial of intensive early intervention for children with pervasive developmental disorder, *American Journal on Mental Retardation*, 105,4,269-285.